

| |
|--|
| 記者提供資料 |
| 2022年(令和4年)1月12日 |
| 総務局総合安全対策室 地域防災担当：広瀬・石田 TEL:078-918-5069(内線2432) |

1月から3月にかけての防災・減災の取り組みについて

今後発生が懸念されている南海トラフ地震や近年各地で発生している大規模な風水害に備え、兵庫県南部地震(1月17日)と東北地方太平洋沖地震(3月11日)が発生した1月から3月にかけて下記の取り組みを実施することにより、市民及び職員の防災意識向上を図ります。

1 シェイクアウト訓練〔全市民及び職員対象〕

南海トラフ地震が発生したという想定のもと、市内全域を対象に災害情報を伝達し、各自で自身の身を守る安全行動をとるシェイクアウト訓練を実施。

- 日時 2022年(令和4年)1月17日(月)10時(開始予定)
- 内容 市民及び職員が防災行政無線、館内放送による緊急地震速報や登録制メール(防災ネットあかし)による地震発生の情報を受け、その場で自らの身を守る安全行動を実施。

2 その他研修・訓練〔職員対象〕

(1) 職員防災研修会(災害伝承10年プロジェクト事業)

災害伝承10年プロジェクトとは、消防庁が、東北地方太平洋沖地震の被災地で活動した市職員や消防団員を災害伝承語り部として全国の市町村に派遣を行っている事業。

- 日時 2022年(令和4年)1月14日(金) 14時~15時30分
- 場所 本庁舎806会議室
- 内容 東北での大震災の経験者談をもとに、災害にどのように備えるか、また、災害時にどう行動すべきかを学ぶ。
「大規模災害への備え」~東日本大震災の事例から~
講師：宮城県気仙沼市総務部危機管理課 係長 鈴木 秀光 氏

(2) 消防水利確保(遠距離大量送水)訓練〔消防局〕

- 日時 2022年(令和4年)1月末まで
- 場所 明石市魚住町金ヶ崎780番地の5 JA兵庫南魚住ライスセンター
- 内容 南海トラフ地震が発生した際には、市内においても甚大な被害を受け、消火栓が使用不可能になることも想定されるため、河川や海からの送水を実施するための遠距離大量送水システムを使用した放水訓練を実施する。

(3) 指定避難所要員参集訓練

- 日時 2022年(令和4年)1月25日(火)
- 場所 各指定避難所(市立小・中学校)
- 内容 指定避難所要員(123名)を対象に、各小中学校における避難場所や備蓄物資保管場所等を確認する訓練を実施する。

(4) 防災指令伝達訓練

- 日 時 2022年(令和4年)2月
- 内 容 執務時間外の災害発生時に職員が迅速に参集するために、防災配備指令伝達系統図に基づく情報伝達訓練を実施する。

(5) 耐震性貯水槽操作訓練〔水道局・市民病院〕

- 日 時 2022年(令和4年)2月末まで
- 場 所 市民病院 耐震性貯水槽
- 内 容 災害時の断水に備え、地域防災公園等に整備されている飲料水兼用耐震性貯水槽の操作訓練を実施する。

(6) IP無線取扱訓練

- 日 時 2022年(令和4年)3月
- 内 容 災害時に電話等の通信手段が遮断された状況においても通信体制を維持するため、これまで、関係機関にはデジタル簡易無線を配備していたが、順次、IP無線機に変更していくことから、取扱訓練を実施する。

3 その他の取り組み

(1) 黙 禱・半旗掲揚

- 日 時 2022年(令和4年)1月17日(月)及び3月11日(金)